

JAしまねびより

2019

1

January Vol.34

特集 島根のいいもの再発見!! 「津和野町 榎(さかき)」 西いわみ地区本部



大發谷楠成神社
の賑わい(津和野)
Nanichi

JALまね 西いわみ地区本部版



謹賀新年

皆様のご健康と

ご多幸と

心よりお祈り

申し上げます

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

新年あけましておめでとうございませす。

組合員の皆様には、新しい年を穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたのも、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の大雪や4月の地震、7月の豪雨や9月から10月の台風被害など、県内でも多くの被害が発生いたしました。被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後も復興に向けたご支援をさせていただきますと思います。

事業運営につきましては、「第1次中期経営計画」と「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、前年に引き続き「儲かる農業の実現」を念頭に、自己改革の3本柱である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重要課題として、取り組んで参りました。

営農関係では、新設した販売戦略室により、品目横断的に販路開拓に努め、新しい商品企画や輸出や都市圏での販売など、販売を起点としたものづくりを進めました。また、米については生産調整の

見直し初年度を迎えるなかで、事前契約比率の向上を重点的に進め、畜産では県央畜産総合センターや隠岐地区の二つの市場整備など、基盤強化の取り組みも着実に進めているほか、担い手育成や経営指導にも力を入れました。

地域の活性化では、地区本部を核として女性組織、青年組織等と連携を図りながら、食と農を基軸としたくらしの活動に取り組み、各地域でJA・支店まつりや組合員セミナー、農業体験、生活文化教室などを開催し、多くの組合員・地域の皆様に参加していただく機会づくりに努めました。

また一方で、「運営体制改革」「事業改革」についても最重要課題と位置付けて取り組み、昨年11月に開催した臨時総代会では、次の役員改選から理事数を現行の65人から40人とし、このうち常勤理事を33人から17人に、非常勤理事は32人から23人に、監事を9人から6人に削減する役員体制と、運営委員会の再構築と強化を含む新しい運営体制に関する議案をご承認いただきました。今後は車の両輪としての事業改革を早急に進め、一層の統合メリットの発揮、効率化を進め、組合員の皆様への還元に努めて参りたいと考えております。

さて、本年は現在策定を進めている「第2次中期経営計画」と「第2次農業戦略実践3カ年計画」の初年度となりますが、農業やJAを取り巻く環境は日欧EPA、TPP11の発効、米国とのTAGなど大変厳しい中での計画となります。そのうえ、5月には「農協改革集中推進期間」の期限が到来します。政府はJAの自己改革の実施状況等を調査し、その結果次第では信用・共済事業の分離や准組合員の事業利用規制を視野に、更なる農協改革圧力を強める懸念もあり、JAは重要な局面を迎えます。

このように大変厳しい経営環境の中ではありますが、今後も組合員の皆様との話し合いの機会を多く設け、いただいたご意見を事業に活かし、皆様から選ばれて、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員、地域の皆様にとりまして、本年が幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年1月

代表理事組合長 竹下 正幸

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【津和野町 榊(さかき)】

1月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、神事や神棚に使う榊の栽培に取り組む、商人(あきんど)榊生産組合長の田中幸一さんにお話しをお伺いしてきました。



雨の中、榊が育つ山の中で色々とお話をいただきました。

榊を栽培するきっかけを教えてください。

昭和48年、20歳の時、荒茶生産の専業農家として経営を引き継ぎました。旧日原町の商人(あきんど)集落は中国山地の山あいであり、ほとんどが森林で平坦な農用地は1パーセント未満と農業が不利な中山間地です。当時から高齢化が進み人口は減少、何とかしなければならぬと何度か集落で話し合いました。地区にたくさんあるものは、広大な里山と高齢者の労働力。掛け算の原理でこのたくさんあるもの同士を掛け合わせることであればより大きなもの、すなわち新たな核となる特産品を創り出すことができます。里山を活用できるものには何があるのか。集落で出した答えは榊でした。榊なら広大な里山を農用地として見立てることができ、稲作のようにコンバインなど機械を乗り回す必要がない。ハサミとカゴのみで高齢者が無理なく作業できる。当時は山に自生する榊を切り取って販売する人はいましたが、計画的に植栽し栽培ものとして生産している人はいませんでした。それならば、一大産地化を目指し農家全員で取り組もうと平成元年に集落の全21世帯(2世帯は非農家)のうち、19戸で「商人榊生産組合」を設立。短期的にはタラの芽などの山菜、長期的には榊をと、平成生まれの特産品を作っていくと動きだしました。第1次に6.8ha、その後2、3次と造成し最終的には8ha弱の面積で約3万本を植栽し生産を開始しました。



商人地区、急峻な中国山地の谷間に里山の暮らしを見せてくれます。

榊の栽培や収穫はどのようにするのですか？

ハシゴを使って収穫する必要があるようになるべく樹高を低く仕立てます。樹齢5年辺りから収穫できるようになり、ハサミを持ち、カゴを背負って山で枝を収穫していきます。持ち戻った枝は葉の汚れなどを洗浄した後、虫食いや葉の形が悪いもの、欠けているものなどを見極め、綺麗な枝ぶりのものだけに振り分けます。大きさは枝ぶりなどで5種類くらいに分け神棚等に立てる

最初の数年は在来種の榊を里山に降ろそうとスコップな

これまでに大変だったことや苦労してきただことありませんか？

前提で高さ30cm、底辺が25cmの2等辺三角形になるように数本を束ねた後、水揚げ・保水処理を行い出荷します。益田市と浜田市のほか、広島市の市場に出荷しています。



より良い商品にという想いが、市場に評価される高い品質を保つ秘訣につながっている。



タイムスリップしたかのような風景も、様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



作業しやすいよう整備された里山に榊が立ち並ぶ。近いからこそ手入れが行き届き、その努力と時間が立派な畑に。

ど持って苗を探して山奥まで取りに行っていました。先端の細かい毛細根まできちんと取らなければならず、重労働かつ効率が悪く「これじゃだめだ」と痛感しました。そこで種苗会社4、5社から数種の苗木を取り寄せ、それぞれの世帯で東西南北や日照時間の違う条件で榊を植えて品種を比較、集落に合った榊を選び植栽をはじめました。先進地で勉強する機会がもてないため、栽培方法から病気や害虫の種類や対策まで試行錯誤を繰り返しながらこれまで行ってきました。幸い、榊はお茶と同じツバキ科の植物だったので親しみが有り、これまでの経験が生かせる時がありました。榊の生産は今年で30年目になりますが、生産者全員の頭の中にあつた知識を体系化した栽培マニュアルは、近年になってようやく新規生産者に渡せるようになりました。大変な作業の1つには、点在する榊の場所まで肥料を持って行き散布するのが労力を要します。

市場での評価はいかがですか？

しっかりと肥培管理しているので葉の色ツヤがよく、加えて日持ちが良いと高く評価をいただいています。お客様の中には水に入れていたら発根したという人がいるほど、鮮度や品質にはこだわっています。近年は外国産の榊が多く出回っており、品質が極めて高い国産の榊を求めて花屋さんをはじめ、全国の市場から訪ねていらっしやいます。生産量に限りがあるため需要に対して供給が追いついていないのが現状です。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

市場からの引き合いはたくさんあるので、生産量をまだまだ拡大しなければならぬと考えています。平成24年には津和野町全域、平成27年に

榊 (さかき) 一口メモ

「木」に「神」と書いて榊(さかき)。神道で古くから関わりがあるとされる常緑樹で、常に生い茂っている木のため「栄木(さかき)」、神と人との境界を示す意味もある「境木(さかいき)」というのが語源とされる。毎月1日と15日に神棚の榊を変える習慣のほか盆や正月、お彼岸等の特需など、1年を通して安定的な需要があることから、集落では年150万円前後の収入が見込める副職として榊の生産を積極的に勧めている。商人地区での榊栽培の最高齢者は88歳と91歳の夫婦がいるほか、近年に参入した20代の生産者が出荷量を増やすなど、個人の状況やライフスタイルに合わせて榊生産を有効に活用するデザインが注目を浴びている。



「凜とした」という表現が正しいかどうかは別として、こんな綺麗で立派な榊を見るのは正直初めてでした。「本物」という言葉がふさわしい。



田中組合長(左)と研修生の中川峰さん(右) 中川さんをはじめとした若手が商人イズムの継承者として榊栽培に取り組みだしている。

農と合わせて副職として榊の栽培を勧めています。私自身は6年前に荒茶の生産を辞め、山菜と榊の生産に切り替えました。限界集落といわれた商人地区は昔からチャレンジ精神が旺盛な土地柄です。変わりゆく時代に柔軟に対応し、地域の農業が途絶えないよう努力を続けています。

チャレンジ「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAは地域の活性化に取り組んでいます！

JAは農業だけではなく、JAならではの取り組みで「地域の活性化」に貢献しています。

【食農教育】▶▶▶▶

代表的なものに「食農教育」があります。子どもたちはもちろん大人にも、「食べる」という行為そのものだけでなく、その背景にある「いのち」や農業の果たす役割をお伝えすることに大きな特徴があります。農業体験学習などを通じて、土に触れる楽しさや収穫の喜びを味わうだけでなく、農家の苦勞を知り、自分の住む地域の魅力や地産地消の意味を学ぶ絶好の機会になっています。



ホームページで TVCM
「愛菜カレー」編を公開中！



◀◀◀◀ 【JA女性部活動】

女性部の活動も、食と農を通じて地域を元気にする取り組みにつながっています。各地域の伝統料理を学び伝える講座や、健康教室、趣味のサークルなど幅広く活動しています。また、一般教養や料理講座などを年間のカリキュラムで学ぶ「JA女子大学」も人気で、若い女性を中心に生き生きと活動しています。

元気な女性たちが、多方面の活動に加わることで地域に活力が生まれ、活性化につながっています。

理事会情報 (11月29日開催)



(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

- ① 平成30年度しまね農業生き生きプランの承認について
- ② 第2次農業戦略実践3カ年営農計画(2019～2021年)の策定について
- ③ 信用事業にかかる平成31年度からの事業運営モデルの選択について
- ④ 平成30年度末決算見込み(1次)について
- ⑤ JAしまね中間期ディスクロージャー誌2018の作成について
- ⑥ 次期中期経営計画(2019～2021年度)策定の進め方について
- ⑦ 役員選考について
- ⑧ 年間所定内労働時間の統一について

協議事項

地区本部トピックス

雲南

飯南町無人航空機運営協議会 ドローン免許新たに4人取得し体制強化

飯石郡飯南町にある同町無人航空機運営協議会は、無人ヘリコプターやドローンを使った水田防除に取り組んでいます。12月10日から14日に行われた免許講習会では、農業用マルチローター（ドローン）の技術認定証を新たに4人が取得し、来シーズンに向けて体制を強化しました。

今年7月に同協議会のメンバーでもある松江市の株式会社SWIFTが、県内初の農林水産航空協会認定の教習所、整備事業所として認定されたことを受け、分校開催として同町で講習会を開きました。

今年は町全体と雲南市の一部、約900㍍で散布。高齢化が進み防除面積が年々増加する中、作業者の負担を軽減するために拡充を図りました。

来年はヘリとドローンの免許取得者16人で作業を進めていく予定です。新たに免許を取得した同町の藤原翔太さん（20）は「地域の皆さんの力になれるよう頑張りたい」と意気込みます。



免許講習会でドローンを操作する藤原さん

くにびき

店舗のイメージや窓口の対応、 職員の身だしなみを競う 美粧化コンクール実施

くにびき地区本部は12月6日、支店・店を巡回し、店舗内外の明るい雰囲気や接遇、職員の身だしなみなどを審査する「店舗美粧化コンクール」を実施しました。

同コンクールは各支店・店の創意工夫で、親しみやすく安心感があり、来店したくなるような明るい店舗作りを目指し開催しています。

当日は、12名のJA職員と4名の女性部の部員が審査員となり、4班に分かれて巡回しました。

審査員は「店周・外観」、「ATMコーナー」、「店内」、「身だしなみ・接遇」について審査し、上位3支店・店を選出。1位にはキャンペーンなどを効果的にPRし、気持ちの良い挨拶をしていた川津支店が選ばれ、法吉支店、宍道支店と続きました。

審査員を勤めた女性部東出雲支部の森口順子支部長は「それぞれの支店・店で工夫がされていた。明るく挨拶をされる支店には、また来店したくなった」と評価しました。



店内をチェックする審査員

隠岐

平成30年度果樹剪定講習会を開催

隠岐地区本部は12月13日（木）に、平成30年度果樹剪定講習会を開催しました。

果樹剪定講習会としては、昨年に引き続き2回目の開催となり、隠岐農産物生産者協議会の会員を中心とした島内の生産者32名が参加しました。

当日は島根県農業技術センターより2名の方に講師として来島いただき、栽培や剪定のポイントなどをわかりやすく説明していただきました。

あいにくの雨の中での開催となりましたが、参加者からは剪定についてはもちろん、普段の管理や実際に被害のあったみかんを例にした病害虫の防除についてなど多くの質問があり、とても有意義な講習会となりました。



やすぎ

新たな担い手誕生

やすぎ地区本部は11月21日、やすぎ担い手支援センターで新規就農者実践研修修了式を開催しました。イチゴが特産の安来市で、新たに2人の担い手が誕生しました。式には県や市、指導農業士ら約20人が出席し、研修生2人の修了証書授与と激励を行いました。

研修を修了したのは、大阪府出身の山下勇人さんと神奈川県出身の大森雄介さんで、2人は島根県で農業がしたいと1ターンを選びました。特産であるイチゴを研修品目として、平成28年から市の新規就農研修事業で、指導農業士の池田憲司さんと野島年光さんの下、それぞれ一からイチゴ栽培などを学びました。その後平成29年から今年8月まで、同センターで栽培全般と収穫などの実践研修を3,000時間弱行いました。

同センターは2012年の開設以降、今回の2人を含め11人の修了生を送り出しています。



大森さん（前列中央右）と山下さん（前列中央左）

斐川

組合員学びのひろば 「防災を学ぼう！」

斐川地区本部は12月3日、自然災害などの緊急時に対応できるよう「防災を学ぼう!」と題してセミナーを開催しました。始めにJA職員が、家の光記事からアウトドアコードを使用した「防災プレスレット」を紹介説明し、参加者が作りました。続いて、日本赤十字社島根県支部より2名の指導員を講師に招き、風呂敷で作る「リュックサック」、1枚のタオルケットや毛布を利用した「ガウン」、リラックス効果のある「ホットタオル」の作り方など、災害時に役立つアイデアを教わりました。また、貴重な水を有効利用したお米の非常炊き出し方法なども学び、参加者は質問等を交えながら真剣に取り組んでいました。企画した組織広報課の周藤課長が「日々の備えが大切、今回の研修を万が一のときに活か

かしていた
きたい」
と総括し、
防災意識の
高まったセ
ミナーとな
りました。



タオルケットを利用して作った「ガウン」

石見銀山

第4回JAしまね石見銀山地区本部 家の光大会

石見銀山地区本部は12月8日、大田市大田町の島根県立男女参画センター「あすてらす」で、第4回JAしまね石見銀山地区本部「家の光大会」を開催しました。

JAしまね石見銀山女性部、JA役職員、一般の家の光愛読者210人が参加し、公演や「みどりをまもる小学生作文コンクール」受賞作文の発表など数々の催しを楽しみました。

公演では、JAしまね出雲女性部塩冶支部「えんまん座」がユニークな寸劇やダンスを披露し、会場を大いに沸かせました。

その後は、JAしまね女性部が主催する「みどりをまもる小学生作文コンクール」で島根県知事賞を受賞した大田市立池田小学校6年の藤原大和さんによる作文の朗読や家の光記事活用体験発表、ふじの会の日本舞踊、川合支部のフォークダンスなどのアトラクションが行われました。



ダンスを披露する女性部川合支部

隠岐 どうぜん

来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月14日（金）に毎年恒例になった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者のみなさまからのご要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備しました。グリーンストア（西ノ島）では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。有難うございました。



出雲

タオル1人1枚運動 JAしまね出雲女性部

JAしまね出雲女性部が、「タオル1人1枚運動」で集めたタオル3,500枚を出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設へ寄贈しました。11月29日には贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長と三原洋子河南地区長が「みどりの郷 湖陵」の吉井忠夫施設長にタオルを手渡しました。

部員から自宅で眠っている未使用のタオルを集めて福祉施設に寄贈する運動で、今年初めて企画したものです。発案した高野部長は「多くの部員が参加しやすく、皆さんの役に立てることはないかと考えた。部員の力が集まれば、1人1枚でもすごい枚数になる」と話しました。

JAしまね出雲地区本部の職員や、同地区本部の関連会社にも呼びかけ、7～9月の3ヶ月間で約4,500枚を収集。そのうち1,000枚は、7月の西日本豪雨で被災したJAしまね島根おち地区本部管内への支援として贈りました。



高野部長（右奥）と三原地区長（右手前）から吉井施設長へ贈呈

西いわみ

購買店舗をリニューアルしました。

西いわみ地区本部は11月30日、益田市美都町の購買店舗「ラーバン」をリニューアルし、「YショップJALしまねラーバン」としてオープンしました。

業務運営は、同町で温泉施設などを運営する(株)エイト(青木正美代表取締役社長)が担い、地域の皆さんの生活を支えます。全農と提携関係にある山崎製パン(株)の地域密着型店舗形態「Yショップ」を活用した事業展開と(株)エイトが掲げる地元経済の活性化と地域住民の生活を守る取り組みとが合致すると考え、「Yショップ」へ業態転換することを決めました。

ヤマザキオリジナル商品に加え、地元生鮮食品や農産物加工品、JAブランド品も従来通り取り揃えています。

オープニングセレモニーでは、青木社長が「新店舗は生活を守る大事な店。この店が末永く発展するようがんばりたい」と抱負を述べました。

田村清己本部長は、「食と農の安全を目指し地域に貢献できる店舗となるよう支援したい」とエールを送りました。



島根おおち

地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて取扱う『味の絆』の発送が12月4日より始まりました。

この「味の絆」は、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱うことで、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内加工場で製造したきねつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「^{ゆうか}邑華」など15種の商品を取扱っています。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取り組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月21日(金)の発送をもって終了となりました。



本店

女性大会、家の光大会 大盛況!

JAしまねとJAしまね女性部は12月5日、出雲市のラピタウェディングパレスで「第36回JAしまね女性大会ならびに第20回島根県家の光大会」を開催しました。

やすぎ、石見銀山、いわみ中央の3地区本部の愛読者が発表した家の光記事活用体験発表では、「ふみだせ2歩!」と題し発表した、やすぎ地区本部の梶村純子さん^{かじむらみずこ}が最優秀賞を受賞しました。介護現場で働く梶村さんは、家の光記事を活用した介護予防に繋がる講座を企画。最初は1人だった参加者も徐々に増え、今では年間教室に発展した様子を発表しました。梶村さんは来年2月に神奈川県横浜市で開催される「第61回全国家の光大会」に県代表として出場します。

各女性部が練習を重ねて発表したグループ活動では、ス Copp 三味線やベリーダンス、ファッションショーなどを披露。最後には隠岐どうぜん女性部による「キンチャモニャ」を会場全員で踊り、盛況のうちに閉会しました。



最優秀賞を受賞した梶村さん

いわみ中央

産直の加工品を増やそう!

JAしまねいわみ中央地区本部産直振興協議会江津支部は11月21日と28日の両日、会員を対象に加工品に関する研修会を開催しました。この研修は、所得向上に向け季節の農産物に付加価値をつけることを目的に、基本的な加工技術を習得するもので、会員は地区本部管内の産直の加工品をもっと増やしていこうと真剣に研修に参加しました。

前半の研修は漬物・ジャム類の加工の基礎的研修で、講師の生田千枝子アドバイザーより、漬物に関しての保存方法や殺菌方法等の説明を聞きました。併せて浜田保健所職員を講師に、表示研修も行いました。後半は実習として、ピクルスやジャムを作り、ビン詰め殺菌方法などを学びました。

会員は、「漬物を出荷する場合、保健所の許可も必要になってきて、より安全安心を求められてきているが、今日は殺菌方法等具体的な指導を受け勉強になった。質の高い商品を出荷するためにも、このような研修の定期的な開催を望む」と話していました。



平成31年 平成から新しい年を 迎えるに当たって ご挨拶



JAしまね西いわみ地区本部
常務理事本部長
田村 清己

新年あけましておめでとうございます。

組合員および地域の皆さま方におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

おかげさまでJAしまねも、平成から新たな年号を迎えることとなり、平素より皆さま方からの当組合事業全般にわたって、ご支援ご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

振り返りますと昨年は戊戌（つちのえいぬ）年で穏やかな年と思いきや、2月の大雪・寒波に始まり、4月の島根県西部地震、7月の中四国豪雨災害、8月の猛暑から9月の長雨、10月胆振東部地震など天候や自然災害に振り回されましたが、水稲を筆頭にメロン、ぶどう、トマト、西条柿等特産の園芸品目や各種野菜、畜産等につきまして、まずまずの成果を上げることができました。これもひとえに生産者のご努力や栽培管理・肥育管理の徹底により品質数量とも確保されましたことに、あらためて敬意を表します。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点課題として各事業や取り組みにおける自己改革と統合メリットの創出に取り組んでまいりました。営農関係では農業振興支援事業、生産資材の価格低減をすすめ、30年産米の新たな3段階にわたる買い取り制度、6月に「全農マルシェ」全国版に西いわみ特集を組み、ブドウ、メロン、わさび、トマト等全国にPR、8月に「西いわみ集落営農・法人ネットワーク」設立、商人紳生産組合設立30周年、吉賀米「吉賀美玉」ロゴマーク登録などをすすめました。

金融共済面では、資産形成・資産運用の手法導入や、ローンセンターを中心に住宅ローンを展開、年金友の会津和野支部の立ち上げ、共済あんサポ（あんしんサポート）体制スタート、総務関係では、2月に青年連盟とタイアップした婚活イベントを津和野町で実施、JAまつりを虹のホールで実施、民族芸能の津和野鷺舞と奴（やつこ）

行列を松江城・島根県民会館で披露、女性部生活研修をホテル玉泉で行い、西いわみ家の光大会を開催し、ケイトウの栽培、くらしの活動をすすめるなど、走馬灯のように巡ってまいります。

経営環境が厳しさを増すなか、運営体制の取り組みについては6月の通常総代会で承認され、11月の臨時総代会で役員定数の削減等定款の変更、常勤理事体制、運営委員会の強化が決定され、JAしまねは新たな体制のもとスピード感をもって、組合員の負担にこたえられるよう努めてまいります。

迎えた本年この1月から、自己改革の取り組みに対する皆様の評価をお伺いして、より一層組合員の皆様の負担に配慮するとともに、組合員の協同による総合事業参加によって、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAであるために、組合員アンケートを実施いたします。役員が皆様のお宅にご訪問させていただきまますので、よろしくお願ひ申し上げます。

本年は、歴史的に平成から新たな

年号となる希望に輝く年となります。干支は亥、十二支では最後の12番目に当たり猪突猛進という言葉で知られるイノシシ。外圧に目を向ければHEU・EPA、日米TAG交渉、TPP11交渉の発効など、また内圧として政府の農協改革への諸課題が山積するなか、「持続可能な農業の実現」「豊かであらうしやすしい地域社会の実現」「協同組合としての役割発揮」をJAしまねの目指す姿ととらえ、新たなJAしまね中期経営計画に向け、「職と農を基軸として地域に根差した協同組合としての総合力発揮」をキーワードとして、役員一丸となって一生懸命職務に邁進してまいりますので、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり組合員および皆さま方の今年一年のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新しい年のご挨拶いたします。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



第4回家の光大会を 開催しました

J Aしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は12月15日、益田市遠田町のジュンテンドー(株)研修センタージャストホールで第4回となる家の光大会を開きました。

管内から家の光愛読者約200名が出席した大会では、来賓に（一社）家の光協会中国四国文化局真鍋勝裕局長を招き、記念講演やアトラクションなどを催しました。

記念講演では、佐賀県在住の福祉レクリエーションワーカー森恵美氏が「いま輝く!!今を生き抜く」と題した講演を行いました。

森講師は「何気ない日常の過ごし方が人生を変えていく。コミュニケーションがすべての基礎」と話し、音楽に合わせた体操などで会場を盛り上げました。

今年度開催の第40回みどりを守る小学生作文コンクールで島根県教育委員会教育長賞、島根県農業協同組合長賞、J Aしまね女性部長賞を受賞した小学生3名による作文の発表会を行いました。

このほか、レインボー体操や家の光体験記事活用発表、女性部有志によるアトラクションなどを行いました。

西いわみ地区本部家の光





まちむらネットワーク

美都購買店舗 リニューアルオープン

J Aしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は11月30日、益田市美都町の購買店舗「ラーバン」を「YショップJ Aしまねラーバン」としてリニューアルオープンしました。

業務運営は、同町で温泉施設などを運営する株式会社（青木正美代表取締役社長）が担い、地域の皆さんの生活を支えます。

全農と提携関係にある山崎製パン（株）の地域密着型店舗形態「Yショップ」を活用した事業展開と株式会社（株）が掲げる地元経済の活性化と地域住民の生活を守る取り組みが合致すると考え、「Yショップ」へ業態転換することを決めました。

オープニングセレモニーでは、青木社長が「新店舗は生活を守る大事な店」「この店が末永く発展するようがんばりたい」と抱負を述べました。



J A津和野支店が 年金友の会を設立



J Aしまね西いわみ地区本部津和野支店（支店長小山隆）は12月1日、かねてより要望があった年金受給者の会「年金友の会」を設立しました。

津和野町民体育館で開いた結成大会では、来賓に下森博之津和野町長を迎え、管内の年金受給者150名余りが出席しました。

新たに年金友の会津和野支部長となった同町邑輝の齋藤勲氏は「全員が元気で過ごしてほしい。地域のため、家族のため、自分自身のためにがんばってほしい」とあいさつしました。

健康ウォークで 歴史探訪

吉田地区健康の里づくり協議会（会長村上佳久）は、11月20日、地元の歴史の勉強と健康増進を兼ねたウォーキングを開催しました。

平成30年は寺社や墓碑、史跡などを巡る約2kmのウォーキングコースを企画しました。

当日は、益田市歴史民俗資料館の新松館長のガイドで参加会員20名が市内を巡りました。

一行は、多田町にある扇原関門跡で新松館長から説明を受けた後、土井町の机崎神社に移動し、七尾町の妙義寺、本町の益田市歴史資料館を経て、国指定の史跡雪舟庭園がある東町の萬福寺までを歩き歴史を堪能しました。



食育活動を行いました

J Aしまね西いわみ地区本部では、平成30年度に食育活動の一環として益田市飯田町にある「飯田選果場」で市内の小学生・園児を対象に見学を実施しました。

この選果場は、当地区本部の多目的選果施設として整備され、メロン・トマト・西条柿の選果を行っている。

今年度は小学校7校、保育園2園が見学に訪れ、職員から選果施設の説明を受けました。

見学の最後にはJ Aバンク教育活動助成事業を活用したメロンの試食があり、生徒・児童からは「美味しい!!」「あまーい!!」といった声が聞こえました。

当地区本部では今後も助成事業を活用しながら、多くの子供たちに地元の特産品の魅力を伝えていきたいと考えています。





まちむらネットワーク

世代間交流事業 「とちの実交流会」開催

益田市匹見町石谷地区で11月27日、匹見下公民館が主催し19回目となる「とちの実交流会」を開き、小学生と地域住民がトチの実を使ったトチ餅作り体験交流会などでふれあいを深めました。

同地区で活動する加工グループ「内谷とちの実会（村上巴代表）」メンバーらが講師役となり、同町小学校3年生と4年生児童5名に餅作りを指導しました。

児童らは、メンバーと一緒に昔ながらの道具を使ったトチの実の皮むき作業や、杵と臼を使った餅つきを体験し伝統文化を教わりました。

参加児童らはトチ餅作りのほか、地元食材を使った昼食会や同町出身の和太鼓奏者今福優氏指導による和太鼓演奏などを体験しました。



「わんぱくらんど」 収穫祭開催



津和野町農業青年クラブ（会長石橋康邦）は12月7日、同町後田の津和野町民体育館で「わんぱくらんど」の収穫祭を開きました。

町内の5歳から6歳の保育園児41名を招き、杵と臼を使った餅つきを行い、収穫を祝いました。

当日は、園児らが同町田二穂地区の水田11アールで育てた「ヤシロモチ」を使いました。

園児らは同クラブメンバーに手伝ってもらいながら掛け声に合わせて餅をつきました。

つきあがった餅は園児らが自ら丸め、お土産として持ち帰りました。会場ではこのほか、同クラブ会員らが手作りのぜんざいをふるまい、祭りの終わりには餅まきを行いました。

「ベビーマッサージ講習会」 開催

J Aしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は11月28日、益田市駅前町J A地区本部で、育児中の母親を対象に子育てセミナー「ベビーマッサージ講習会」を開きました。

親子のスキンシップを通して愛情を深め育児を楽しむ心を養う事を目的に毎年開いており、今回が6回目です。

当日は、講師に佐々木幸江助産師、山本喜久子助産師を招き、1歳未満の乳幼児を持つ親子連れ14組がマッサージを学びました。

佐々木講師は「親の気持ちを伝えるには、ふれあう事によるコミュニケーションが一番」と話し、「リラッククスするためのマッサージは体の中心から外側に向けて行うと良い」とアドバイスしました。



J A女子大学「フラワー アレンジメント講座」開講



J A女子大学西いわみ校（学長田村清己地区本部長）は12月9日、益田市駅前町J A地区本部で第7回となる「プリザーブドフラワーを使ったフラワーアレンジメント講座」を開講しました。

同市でプリザーブドフラワー専門店を営む「アンデローズ」斎藤もとか代表を講師に招き、アジサイの花をベースに大きさの異なるバラの花と装飾品をあしらったギフトボックスの製作体験とアレンジの仕方を教わりました。

学生らは、講師が用意した12色以上あるバラの花の中から好みの色の花を選んだ後、講師の指導を受け、配置や色の組み合わせを工夫しながらアレンジを楽しみました。



地元女性部が「秦佐八郎博士」 記念事業に協力

益田市美都町出身で、梅毒の特効薬「サルバルサン606」を発見した人物で知られる秦佐八郎博士（明治6年〜昭和13年）の没後80周年記念事業が11月24日、有明町県芸術文化センター「グラントワ」で開かれ、関係者ら350名が博士の偉業を称えました。

同町で活動するJA女性部美都支部もこの事業の趣旨に賛同し、同センター内に昼食コーナーを用意し、地元産野菜などをふんだんに使った炊き込みご飯や豚汁などで出席関係者らをもてなしました。



JA女性部料理講習会 を開きました



JA女性部柿木ブロックは12月12日、吉賀町柿木村基幹集落センターでクリスマス料理の講習会を開きました。

JAの家庭冊子『家の光』や『ちゃぐりん』のレシピを参考に、かきたま汁、鶏肉とホウレンソウのゴマみそ炒め、カリフラワーの梅和え、和風スコップケーキの4品を作りました。

部員からは「カリフラワーの梅和えは、梅のさっぱりした味付けと油を少々加えることで食べやすくなった」と評判でした。

おせち料理講習会 を開きました



JA女性部北仙道支部は12月11日、益田市大草町北仙道公民館でおせち料理講習会を開きました。

講師に大畑美里管理栄養士を招き、『家の光』12月号のレシピから、伊達巻き、塩サバの昆布巻き、揚げレンコン、鶏胸肉の甘酢和え、里芋のおかか揚げ、紅白なますの6品を作りました。

大畑講師は「盛り付けの工夫次第で同じ料理が変わる。お正月にはぜひ、一工夫してもらいたい」と部員らにアドバイスしました。



手芸教室 を開きました



JA女性部匹見ブロックはJA匹見支店で12月18日、手芸教室を開きました。

部員14名が参加した教室では、講師役の畠田幸枝ブロック長が獅子舞の図をあしらった押絵づくりを指導しました。

部員の皆さんは出来上がった作品を手には「細かい作業もあり苦労したが、お正月らしいかわいい作品が出来た」と喜びました。

西いわみ地区本部の自己改革の取組み

JAの自己改革に関する組合員アンケート調査を実施します

JAしまねおよびJAグループ島根では自己改革の取組みに対する皆様の評価をお伺いして、より一層組合員の皆様の負託に応えるとともに、組合員の協同による総合事業によって、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAであるために、組合員アンケートを実施することといたしました。

このアンケートの実施にあたっては、平成31年1月～4月の期間に皆様のお宅にご訪問した際、職員からアンケートの主旨をご説明させていただき、ご回答いただくことを予定しております。アンケートを実施することの主旨をご賢察いただき、ご訪問の際には是非ともご協力をお願いいたします。



2月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただけますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

西いわみ地区本部金融共済部金融課 年金相談センター (0856-22-8680) は、平日 (8:45～17:00) いつでもご相談いただけます。

2月の年金相談会 ※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

14日(木)	日原支店	午後2時～午後6時	野村社会保険労務士
21日(木)	西益田支店	午後2時～午後6時	JA年金相談員

人事異動

退職
平成30年11月30日付
益田支店金融共済課
山根 賢一郎 (依願退職)

企画総務部総務課付
福田 真理 (依願退職)

- お題「年賀状」
- 3月のお題は「雪解け」です
ご応募お待ちしております
- | | |
|-------------------|----------------|
| 年賀状 今年も来たよ ありがとう | (益田市 佐々木いさ子さん) |
| 一年の 速さ実感 年賀状 | (益田市 喜村 信江さん) |
| としおいて いっまでつづく 年賀状 | (益田市 寺井 俊雄さん) |
| 遠き友 今年も待つてる 年賀状 | (益田市 大久保菊江さん) |
| 年賀見て 元気な証 電話する | (益田市 椋木 節子さん) |
| 旧友の 笑顔が見える 年賀状 | (益田市 西坂 蔵人さん) |
| ひい孫と 何枚くるか 年賀状 | (益田市 梅津 穂さん) |
| 一年の ごぶさた年賀で ごあいさつ | (益田市 加治イトヨさん) |
| 年賀状 ひ孫三才 えみかわい | (益田市 宮川 香さん) |
| 年賀状 平成に感謝の 三十年 | (益田市 村上登美子さん) |
| 年賀状 書くのも読むのも 忘れ去り | (津和野町 大羽 克巳さん) |
| 宛名書き 懐かし友の 顔浮かべ | (津和野町 勝間 竹代さん) |
| 皆様の ご多幸願う 年賀状 | (津和野町 御手洗孝枝さん) |
| 旧友が 元気ですかと 年賀状 | (津和野町 大庭 定さん) |
| 年賀状 当たる番号 祈りつつ | (津和野町 廣田美代子さん) |
| 年賀状を書きつつ浮かぶ 友の顔 | (津和野町 水津 幸子さん) |
| 友亡くし 一枚へった 年賀状 | (津和野町 石川 直子さん) |
| 年賀状 もらって嬉しい 書くつらさ | (津和野町 高谷喜里栄さん) |

川柳「年賀状」の投稿数 津和野町13通、吉賀町0通、益田市20通

川柳 応募方法

●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 平成31年2月11日(当日消印有効)
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課



益田税務署からのお知らせ

税務署の申告会場は2月15日（金）までは開設しておりません！

申告会場の開設期間は、2月18日（月）から3月15日（金）までです。
申告会場の受付時間は、午前8時30分から午後4時までです。

※土曜・日曜・祝日の執務は行っておりません。

申告と納税は期限内に！

【平成30年分の申告・納付期限】

所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告・納税は
3月15日（金）まで

個人事業者の消費税及び地方消費税の申告・納税は
4月1日（月）まで

便利で確実な振替納税をご利用ください

【平成30年分の振替日】

【所得税及び復興特別所得税】
4月22日（月）

【消費税及び地方消費税】
4月24日（水）

e-Taxがさらに便利になりました！
パソコンでもスマホでも確定申告書が送信可能へ

ID・パスワード方式！

用意するものは、次の2つ！

- ① ID（利用者識別番号）
- ② パスワード（暗証番号）

詳しくは益田税務署にお問い合わせください

問い合わせ先／益田税務署 TEL(0856)22-0444(代表)

西いわみ農業青色申告会 加入募集

青色申告を基礎とした税務、経理及び経営の研究を行うと共に、農業経営の合理化と農業経営の健全な発展に寄与することを目的とする、「西いわみ農業青色申告会」へ加入しませんか？



●年会費：3,000円

●主な活動内容

☆税務研修会の開催

☆青色申告に関する情報提供

●お問い合わせ

JAしまね西いわみ地区本部
営農経済部 営農企画畜産課
TEL0856-23-1911

平成30年産米集荷速報

平成30年12月14日現在

(単位:30kg/袋)

地区名	益田市			津和野町		吉賀町		JA計	
	益田	美都	匹見	津和野	日原	柿木	六日市		
出荷予約数量	33,375	5,329	9,154	31,187	3,093	4,562	17,012	103,712	
集荷数量	27,822	4,621	8,275	24,009	1,970	1,976	9,827	78,500	
前年同期 H29.11.10	88.1%	77.9%	92.4%	76.5%	63.5%	41.5%	72.4%	79.2%	
集荷率	30年産	83.4%	86.7%	90.4%	77.0%	63.7%	43.3%	57.8%	75.7%
	29年産	91.4%	79.1%	92.8%	85.7%	100.0%	88.3%	96.0%	89.8%
1等米比率 (全品種)	30年産	54.5%	76.9%	81.0%	85.4%	50.3%	70.5%	80.4%	71.6%
	29年産	65.8%	74.1%	81.9%	90.5%	71.9%	81.1%	91.3%	79.7%
コシヒカリ 1等米比率	30年産	45.7%	60.9%	84.1%	84.9%	75.5%	65.2%	69.2%	65.7%
	29年産	56.5%	68.9%	86.9%	90.3%	75.3%	75.4%	93.4%	75.3%
ヘルシー米 1等米比率	30年産	67.0%	60.6%	73.4%	85.8%	95.5%	0.0%	82.1%	80.4%
	29年産	79.8%	85.7%	89.6%	94.0%	100.0%	0.0%	80.0%	90.7%
ハナエチゼン 1等米比率	30年産	19.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.7%
	29年産	81.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	87.1%
きぬむすめ 1等米比率	30年産	84.6%	90.3%	90.6%	89.8%	33.0%	74.4%	96.8%	86.7%
	29年産	89.8%	67.9%	93.2%	89.7%	81.6%	72.4%	95.5%	86.6%
つや姫 1等米比率	30年産	42.3%	94.7%	76.5%	86.8%	21.8%	79.2%	100.0%	66.9%
	29年産	64.9%	73.4%	100.0%	93.1%	35.9%	88.9%	89.4%	78.7%
カントリー未計上									

【農産物検査員コメント】

早生品種については、7・8月の高温・水不足による心白粒・茶米などの発生が見受けられる。(カメムシによる格落ちは少ない)
 晩生品種については、現在の所品質面では良好であるが、降雨の影響から刈取り進度は遅い。
 きぬむすめに発芽粒の発生が散見される。
 全品種において籾による格落ちが散見される。
 稲こうじ病の発生は例年に比べ少ない。

平成30年産米の出荷積上げ運動 へのご協力をお願い

平素は、当JAの事業について格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当JAでは、島根米を長年取扱いいただいている県内外の販売先(実需者)に対して、お互いの信頼関係のもと、安定的な販売を心がけています。

平成30年産米につきましても、引き続き販売先の要望数量に応え、安定的な数量を供給することで、島根米の有利販売(売り場の確保など)に繋げる必要があります。

皆様の生産されました優良な島根米を1袋でも多く販売先に供給し、多くの消費者の方に食べて喜んでいただけるよう、「出荷積上げ運動」を実施いたします。

何卒趣旨をご理解の上、**当JAへのお荷**にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

JAしまね 西いわみ地区本部 営農経済部 米穀課
TEL0856-23-1911



期限切れ廃棄農薬回収のご案内

回収実施日 平成31年**2月6日(水)**

回収時間 **午前9:00~11:00**

●回収対象農薬

- 毒・劇物／粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- 一般物／粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- くん蒸剤・くん煙剤
- 空ビン・空容器等



●回収指定場所

益田市	J A 営農指導センター
	J A 美都支店
	J A 匹見支店
津和野町	J A 津和野経済センター
	J A 日原支店
吉賀町	J A 柿木支店
	J A 六日市支店

期限切れ廃棄農薬の分別方法

毒・劇物

- ・粉剤
- ・粒剤
- ・水和剤

一般物

- ・粉剤
- ・粒剤
- ・水和剤

毒・劇物

- ・液剤

一般物

- ・液剤

くん蒸剤

くん煙剤

不明物

空容器

- ・プラ容器
- ・ガラス空ビン
- ・くん蒸・煙空缶
- ・ポリ缶
- ・ブリキー斗缶

必ず上記のように分別して、それぞれダンボール箱に入れて下さい。
ダンボール箱には、分別名と氏名を記入して下さい。

処理経費は1kgあたり432円(税込)の予定です。
回収日の回収時間以外は引き取りはいたしません。

※委任状を書いていただきますので、必ず印鑑(引落しを行う通帳のもの)をご持参下さい。

お問合せ先/JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部 経済課 0856-23-0933

農業資金 説明会

を開催
します

農業に関する設備投資、運転資金、また現在ご利用されている資金の内容等、農業に関する資金の説明会を下記の3会場を実施致しますので、お気軽にご来場下さいますようお願い致します。

説明会終了後には個別相談を行いますので、ご希望の方は事前に、下記までご連絡をお願い致します。

益田市 市場	とき	平成31年 2月14日(木) 14:00~15:30 資金説明 15:30~16:00 個別相談
	ところ	J A しまね 西いわみ地区本部 3階会議室
津和野町 市場	とき	平成31年 2月15日(金) 10:00~11:30 資金説明 11:30~12:00 個別相談
	ところ	J A しまね 津和野支店 経済センター 2階会議室
吉賀町 市場	とき	平成31年 2月15日(金) 14:00~15:30 資金説明 15:30~16:00 個別相談
	ところ	J A しまね 六日市支店 2階会議室



個別相談の連絡先■JAしまね 西いわみ地区本部 金融共済部 融資審査課 0856-22-1590 または、お近くの支店まで



本年も皆様にご満足して頂けるよう
全力を尽くしてまいります。
お正月おすすめ商品



大型割干し器 6.870円 (税込)
大型切干し器 5.870円 (税込)
かきもち切り器 7.800円 (税込)
のしもち切り器 9.800円 (税込)



セイロ
 ステンレス製 (30cm) 13.700円 (税込)
 アルミ製 (30cm) 9.800円 (税込) (28cm) 9.380円 (税込)
餅とろ器 もっくん 4.980円 (税込)
小さな豆乳工場 13.800円 (税込)



タイガーもちつき機
 1升用 19.800円 (税込) 2升用 23.800円 (税込) 3升用 (つき専用) 21.800円 (税込)
タイガー餅切り まる餅くん 6.980円 (税込)
亀型ざる 大 2.680円 (税込) 特大 2.980円 (税込)



追肥にオススメ 肥料の溶けが早い S604
 10kg 1,630円 (税込) 20kg 2,640円 (税込)
たまねぎのべと病 予防に... ダユニール 1000
 250ml 1,110円 (税込) 500ml 2,170円 (税込)
たまねぎのべと病 予防・治療に... フロボース顆粒水和剤
 100g 820円 (税込) 500g 3,770円 (税込)



2月末までの特売商品です!
 皆さまのご来店心よりお待ちしております。



西いわみ地区本部
 益田グリーンセンター (益田) ☎23-0908
 グリーンセンターひまわり (日原) ☎74-1800
 グリーンセンターしろやま (津和野) ☎72-0714
 六日市グリーンセンター (六日市) ☎77-0055





巡回サービス スタート!

JALしまね × メガネの三城

こんにちは。『メガネの三城』移動型店舗店長の狩野と申します。
『タナカ』さんに代わり、みなさまの町のJA各支店へお伺いさせていただいております。
メガネ、補聴器の調整、ご相談などがございましたらお気軽にお立ち寄りくださいませ。
JAでお求めの方はもちろん、他店のものでも大歓迎です。

～ 無料で出来ること、お役に立てることがたくさんあります。～

【ご自宅訪問ご希望の方へ】

日時を調整の上、ご自宅まで訪問も致します。
まずはお近くのJA窓口へご相談下さいませ。

☆お急ぎのお問い合わせはこちらの携帯電話へどうぞ。

090-6955-1612



月	火	水	木	金	土	日
2月の巡回日程				1 友引	2 先負	3 仏滅
				4 大安	5 先勝	6 友引
ラーバン 10時～15時	日原経済C 11時～15時	匹見支店 11時～15時	六日市支店 11時～15時	柿木経済 10時～14時		
11 先勝 建国記念日	12 友引 日原経済C 11時～15時	13 先負 匹見支店 11時～15時	14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先勝
18 友引 ラーバン 10時～15時	19 先負	20 仏滅	21 大安 柿木経済 10時～14時	22 赤口 津和野経済 11時～15時	23 先勝	24 友引
25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口			

経済課より



シロアリ無料調査実施中!!



お客様の大切な財産を
お守りいたします

こんなお宅は要注意

- 建物の周囲、庭先に古材がある家
- 庭先でシロアリを見た家
- 雨漏り・トイが傷んでいる家
- 羽アリが何匹か舞い込んだ家
- 近くに山がある家

私たちが伺います
=(株)コダマサイエンス社員=



中川 徳行



三浦 定

お問い合わせ先

JALしまね 西いわみ地区本部 経済課

☎0856-23-0914

取扱業者

(株)コダマサイエンス 益田市三宅町3-37 益田営業所 ☎0856-22-5390

タテのカギ



- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ④ うわさが広がる際につくことも
- ⑦ 鉄道のレールの下に並べます
- ⑨ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑩ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑪ 子羊の肉のこと
- ⑬ 3.14159……と続く円周一
- ⑮ 道端のこと。—— 駐車
- ⑰ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑱ 小説家・尾崎紅葉の代表作「—— 一夜叉」
- ⑳ ショートケーキによく似合う赤い果実
- ㉑ マンションの—— 人さんにあいさつをして出掛けた

ヨコのカギ



- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ⑤ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑥ 起立！ ——！ 着席！
- ⑧ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑫ 足利尊氏が開いた—— 幕府
- ⑭ 片時もそばを離れません
- ⑯ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑰ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑲ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	11		17	20
2		12	15		
3		10			
	8			18	
4			16		21
5	9	13		19	
6		14			

答え
A B C D

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成31年2月5日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ゴママワシ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんば 健康散歩 JA島根厚生連

春の七草

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

お正月はいかがでしたか？おせちにお雑煮、色々食べたか？飲んだり胃腸もお疲れ気味なのではありませんか。今回はそんな胃腸のお助けマン「七草粥」についてお話しします。

「春の七草」を「1月7日朝に七草粥を食べる」と知っていても、由来や効果などまでは知らない人が多いのではないのでしょうか。「七草」とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを指します。これら七草が入ったお粥を食べると無病息災を願う、古くは平安時代から伝わる習慣です。清少納言の「枕草子」には、「七日の日の若菜を、六日、人の持て来……」という一文があります。

正月6日から7日にかけての行事で6日の夜はヒイラギなどの刺のある木の枝や、蟹のはさみの様な尖ったものを戸口に挟んで邪霊を払い、七草叩きといって、唱えごとをしなから七草を包丁でたたき、粥を炊き込みます。7日の朝、歳神に供えてから家族で食べる万病を払うとされています。

また、七草粥は日常の食生活に戻るといつの区切りとなるほか、新年のちこそうで弱った胃をいたわり、野菜が乏しい冬にビタミン、ミネラルの豊富な七草で栄養のバランスを整えるという古人の知恵があります。

【七草の効用】
セリ：免疫力を高め風邪やインフルエンザを予防するビタミンA。疲労回復に効くビタミンB群。疲労回復を手助けするビタミンC。加えて鉄分も多く含まれているため、冷え性・貧血の症状を和らげます。
ナズナ（へんぺん草）：セリ同様ビタミンA、B群、C、カリウム、鉄が含まれている他、カルシウムや亜鉛なども含まれています。
ゴギョウ（ハハコグサ）：実は詳しい栄養成分が分かっていないキク科の植物。しかし、咳やのどの痛みを和らげる作用があると言われています。
ハコベラ：タンパク質が比較的多く含まれ、ミネラルをはじめとした栄養に富んでいます。また、利尿作用のあるサポニン、止血作用のあるクマリンが含まれています。
ホトケノザ：高血圧の予防・胃腸の働きを整えるとされていますが、栄養、効能はあまり知られていません。
スズナ（かぶ）：胃腸の消化を助けるアミラーゼ、免疫力を高めるビタミンC、むくみを解消するカリウムが含まれます。
スズシロ（大根）：スズナ同様、胃腸の調子を整えるアミラーゼ、ビタミンCが豊富で、肌を若々しく保つ効果も。また、食物繊維も豊富で便秘の解消に効果があります。

年々、野草が生えているところは少なくなり、ホトケノザやゴギョウを見る機会も少なくなりました。しかし、スズナはカブ、スズシロは大根のことですから、これらはお馴染みの食材ですね。この時期はスーパーでも七草セットが売られています。無理に七草全部でなくても、身近なタイコン、カブなどでも良いです。自然に満ちた、体に優しい食材を毎日の食事に取り入れて、寒い日々を乗り越えましょう。

組合員の皆様へ

備えて安心。いつでも便利。クミアイ家庭薬です。

クミアイ 家庭薬 のしくみ

- 1 **まずは薬箱をご自宅に**
いつでもご利用可能な薬屋さんの完成です。
- 2 **定期的に配置員が訪問します**
知識豊富な配置員が丁寧に対応いたします。補充とご精算もこの時に。
- 3 **お薬は使った分だけ後払い**
お薬の代金はご使用分のみのご精算です。他に代金は発生しません。
- 4 **配置する内容は自由に選べます**
70種類以上の品揃えの中から、ライフスタイルに合ったものを。

— 担当の配置員が配置箱の設置と薬の補充に伺います。 —

シニア世代の
アクティブ生活を
おいしくサポート!

Kyoyaku 毎日おいしく
グルコサミン

500ml(約16日分) **1,800円(税抜)**



お好みで
うすめて
飲む



お問い合わせ先



協同薬品工業株式会社 島根営業所

〒699-0641 島根県出雲市斐川町美南1655
TEL 0853-73-7430



JALまねは、出産・育児を応援します!

JALまね 出産・育児コミュニティ

JALまね

こども 倶楽部



お申し込みは
こちらからから



入会金
年会費
無料

平成30年度 会員募集中。

対象 島根県在住でご妊娠中の方

会員期間 ご入会日からお子様の1歳の誕生日末日まで

募集期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

★下記、特典01から03については最寄りのJA支店よりご自宅までお届けします。
(郵送での対応は行っておりません。)

特典
01



ご加入時に
**オリジナル
限定品プレゼント**

特典
02



ご加入から
ご出産まで
**たまごクラブ
お届け**

特典
03



ご出産時に
**記念品
プレゼント**

特典
04



各種 **お役立ち
情報お届け**

- 会員専用アプリによる情報提供
- 子育て・地域に関する、お得で楽しい情報を「こども倶楽部通信」でお届けします。

特典
05



お子様が
満1歳になるまで
ワクワクする
イベントご招待

※特典03の内容は、各地区本部により異なります。詳しくは、該当のJALまね地区本部窓口にお問い合わせください。

和風もちピザ



もちもちの食感のおもちをピザ生地代わりにします。佃煮の塩分とチーズの塩分で味付けはしなくてもおいしく食べられます。フライパンでもいいけど魚焼きグリルでもできます。佃煮は生姜、しじみなど好きな佃煮でどうぞ。

●材料 (2人分)

もち	4個	ピザチーズ	適量
玉葱	1/4個	サラダ油	大さじ1/2
佃煮 (生姜、しじみなど好みの物)		もみのり	適量
	大さじ2		

●作り方

- ①フライパンに油を入れ熱くなったら餅を並べ、弱火でフタをして焼く。
- ②ふっくらと膨れて焼けたら裏返し、両面を焼く。
- ③フライ返しで押し、もちを広げる。
- ④玉ねぎスライス、佃煮、ピザチーズを乗せフタをして3～5分蒸し焼きにする。
- ⑤もみのりを乗せる。

かまぼこチヂミ



お正月も終わり、お節の蒲鉾が残っていませんか。海鮮で作るのがおいしい、韓国料理のチヂミ。新鮮な魚から作られたかまぼこのチヂミおいしいですよ。

●材料

かまぼこ (お正月の残り)	適量	卵	1個
にら	1束	水	120cc
人参	1/3本	ごま油	大さじ1
小麦粉	100g	ポン酢	適量
片栗粉	40g		

●作り方

- ①かまぼこは5mmぐらいにスライスする。にらは、3cmの長さに切る。人参は千切りにする。
- ②ボールに卵、水、小麦粉、片栗粉を入れ混ぜ、ダマがなくなったら、かまぼこ、人参、にらを入れ混ぜる。
- ③フライパンを熱くして、ごま油を入れ②の生地を流し入れ焼く。両面を焼いたら、ポン酢をつけていただく (②の中にキムチを入れ焼いてもおいしい)。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町の太鼓谷稲成神社です。日本五大稲荷のひとつに数えられているこの神社では、全国でも珍しく「いなり」を「稲成」と表記します。「成」には、津和野藩主亀井矩貞公の思いにより、願い事が叶うようにとの意味が込められていると言われていました。多くの参拝者が訪れ、特に正月は毎年数十万人の参拝客で賑わいます。

編集後記

明けましておめでとうございます。編集一同まだまだ正月ボケが抜けきっていませんが、様々な情報をお届けする「JAしまねびより」を本年もよろしく願っています。今月の特集は、お正月らしく「榎」を取材していますので是非ご覧ください。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

